

## 1. 活動を通じてわかったこと（現場の実態）

勉強会でのディスカッションやアンケート・ヒアリング調査により、ものづくりDXの推進状況に関して、技術論以前の「生々しい現場の壁」が浮き彫りとなった。

### ▲ 致命的な「OTとITの断絶」

現場(OT)と情報(IT)間に共通言語がなく、要件定義が頓挫するケースが多発。「何から始めればよいか分からない」中小企業が取り残されている。

### 🚫 DXを阻害する3つの壁

#### ▶ 投資・人材の壁:

ROI(費用対効果)が描けず決裁が下りない。ITリテラシー格差が激しく、推進リーダーが育たない。

#### ▶ インフラ・通信の壁:

工場内の電波干渉による通信の途切れリスク。無数にある通信規格(Wi-Fi/5G等)の選定基準の欠如。

#### ▶ 心理的・組織の壁:

「今のままで回っている」という強い現状維持バイアス。「クラウド=危険」という過度なセキュリティ懸念。

## 2. 課題打破に向けた「羅針盤」

単なる「カイゼン（手段）」から、事業継続権を獲得するための「変革（目的）」へパラダイムシフトを図る。

### 📌 成熟度に合わせて段階的アプローチ

#### Step 1. 可視化（診る）

IoT後付け・現状把握

#### Step 2. 最適化（予測）

AI予知保全・不良特定

#### Step 3. 高度化（創る）

デジタルツイン・自律制御

### 🎯 4つの目指す姿

#### 強靱化

SC全体のデータ連携

#### 柔軟化

無線化・レイアウトフリー

#### 全体最適

止まらない自動補正工場

#### 仮想融合

試作レスな開発体制

## 3. 今後WGが行っていくこと

提言（画餅）に終わらせず、産学官連携エコシステムによる「実行プラン」を稼働させ、伴走支援を強化する。

### ① 課題解決型マッチング

現場の具体的な悩みと、それを解決する国内ITベンチャー等のソリューションを直接結びつける場を創出する。

### ② 生きた「事例」の積極的共有

同規模・同業種の「泥臭い成功・失敗事例」や、無線インフラ選定の明確なモノサシ（カオスマップ等）を提供する。

### ③ 実践的ブリッジ人材の育成

座学にとどまらず、実際の物理設備に触れながらIT/OTの共通言語を持つ人材を地域ぐるみで育成する。

### ④ 伴走支援と実証テスト

ROIが描けない企業への専門家派遣や、テストベッド（実際の工場環境）を用いた実証実験をサポートする。